UBE Transform Tomorrow Today

ビジネスレポート Vol. 25

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日



ＵＢＥ株式会社堺工場内の大阪開発研究センター*（2016年8月開所：左）とスペシャリティマテリアルアプリケーション棟（2025年5月開所：右）

＊「第30回日経ニューオフィス賞／近畿ニューオフィス奨励賞」受賞

Contents

1 トップメッセージ

2 2025年度から2030年度までの6ヵ年を対象とする新中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation －2nd Stage－」

株主配当金のお受取りに関するご案内

3 トピックス

2030年の目指す姿の実現に向けたベーシック事業の構造改革を決定 ほか

4 連結業績ハイライト

裏表紙 会社情報・株式情報

UBE株式会社

証券コード 4208

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第119期(2025年3月期)のビジネスレポートをお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長
西田祐樹

当期の業績

当期においては、売上高は、エラストマー（合成ゴム)の販売価格の上昇などにより前期を上回りましたが、営業利益は、ポリイミドの販売が一部用途向けで低調に推移し、アンモニア工場で隔年の定期修理を実施したことに加え、ウレタンシステムズ事業取得に係る費用が発生したことなどから、前期を下回りました。

経常利益は、セメント関連事業で前期に実施したセメント販売価格是正の効果等はありましたが、エラストマー事業を行う持分法適用関連会社の解散決議に伴い持分法投資損失を計上したことなどから、前期を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、ベーシック事業の構造改革を決定したことに伴い特別損失を計上したことなどから、損失となりました。

配当について

当社は将来の投資に備えた自己資本の充実を図りながら、株主の皆様に安定的かつ業績に対応した配当を継続して実施することを基本方針としております。当期の期末配当は、1株あたり55円といたしました。中間期に実施した1株あたり55円の配当と合わせ、年間1株あたりの配当は、前期と比べ１株あたり5円増配の110円となります。また、次期につきましても、年間1株あたり110円の配当を予定しております。

中期経営計画の取組み

当社グループは、「UBE Vision 2030 Transformation ～1st Stage～」に続く中期経営計画として、2025年度から2030年度までの６ヵ年を対象とする新中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation －2nd Stage－」を策定しました。2030年に向けて、「スペシャリティ化学企業」へ進化させるとともに、これを実現するための行動計画を着実に実行していきます。

この新中期経営計画のもと、2030年の目指す姿「地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学企業」を実現するため、これまでのパーパス(存在意義)をより分かり易く表現し、「希望ある化学で、難題を打ち破る。」を掲げました。

今後、当社グループは、パーパスの実現に向けて次の一歩を踏み出すため、変革スローガン「未解決な未来に挑もう。」のもと、一人一人の意識改革を進め、グループ全体で企業価値の最大化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ＵＢＥグループの社会的価値

創業の精神
「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」

パーパス(存在意義)
希望ある化学で、難題を打ち破る。
創業以来の歴史の中で培ってきたモノづくりの技術を活かし、社会に必要とされている価値を、社会が求める安全で環境負荷の少ない方法で創り出し、人々に提供していくこと。これにより、人類共通の課題となった地球環境問題の解決に、また人々の生命・健康、そして未来へとつながる豊かな社会に貢献すること。

UBE経営理念
技術の探求と革新の心で、
未来につながる価値を創出し、
社会の発展に貢献します

2025年度から2030年度までの6ヵ年を対象とする新中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation －2nd Stage－」

2030年の目指す姿

「地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学企業」

中期経営計画の行動計画

2030年の目指す姿を実現するため、パーパス・経営理念、社会課題に対する影響度を踏まえて、次の5つをマテリアリティ(重要課題)として設定しました。これらの課題に対して、DXの推進等により迅速かつ効果的に様々な施策を展開していきます。

〈ＵＢＥグループのマテリアリティ〉

❶スペシャリティ事業の拡大　❷多様な人財の活躍　❸労働安全・保安防災
❹地球環境問題への対応　❺誠実で公正な企業統治

UBEグループ中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation -2nd Stage-」

UBEグループの「2030年の目指す姿」と、これを実現するための2025 ～ 2030年度の6ヵ年の行動計画。

マテリアリティ

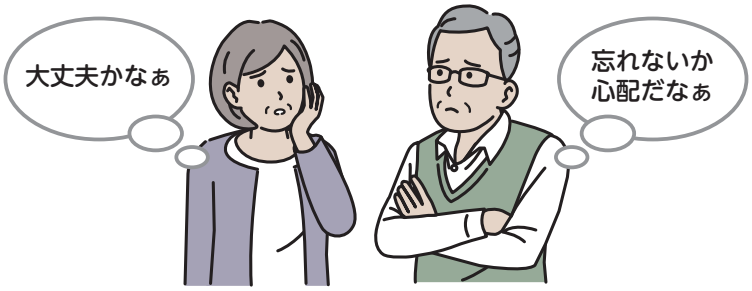
スペシャリティ事業の拡大・多様な人財の活躍・労働安全・保安防災・地球環境問題への対応・誠実で公正な企業統治

中期経営計画における施策		2030年の目指す姿
1. スペシャリティ事業の成長 • 既存事業の成長加速:ポリイミド、分離膜、セラミックス等生産能力増強。 • 新たな事業の立上げとシナジー創出:米国DMC・EMC、ウレタンシステムズの早期収益貢献。 • 新たな事業の獲得:研究開発、M&A(既存事業周辺、スタートアップ)。 **2. ベーシック事業の構造改革** • 業績のボラティリティ低下、GHG削減。 **3. 機械事業、セメント関連事業は自立化の最終ステージとして株式上場を目指す** **4. サステナビリティ経営の深化** • 人財、地球環境問題、ガバナンスと内部統制。 **5. 資本政策** • 財務規律の維持、DOE2.5%以上(累進配当を目指す)。	DXへの取組み グローバルで成長	地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学企業 **数値目標** EBITDA　1,000億円以上 ROS　10%以上 ROE　8%以上 ROIC　6%以上

株主配当金のお受取りに関するご案内

配当金領収証が同封されている株主さまへ

株主配当金のお受取り方法を、１又は２の方法に変更いただくことで、今後株主配当金の確実なお受取りが可能になりますので、ご案内申し上げます。





❶ **証券口座でのお受取り**《株式数比例配分方式》：各証券会社の保有株式数に応じて、証券口座で受け取る方法

❷ **銀行口座等でのお受取り**《登録配当金受領口座方式》：ご指定の金融機関口座で受け取る方法

⚠ **変更のお手続きに関しましては、お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。**

Topics

① 2030年の目指す姿の実現に向けたベーシック事業の構造改革を決定

当社は、ベーシック事業の今後の構造改革の具体的内容とスケジュールについてリリースしました。
当社グループは、スペシャリティ化学の成長と地球環境への貢献を両輪とする成長を目指し、スペシャリティ事業への積極的な投資による事業拡大とベーシック事業の縮小・撤退・再構築に取組み、グループとしての事業構造転換を進めています。
2030年に向け、この事業構造転換を進めることにより、スペシャリティ事業への経営資源の積極投入の継続、グローバル経営の強化などの成長戦略に集中するとともに、DXの推進や人的資本の充実、地球環境問題への対応など、サステナビリティ経営の一層の進展を図ってまいります。

② 米国ルイジアナ州でDMC・EMCプラントの起工式を開催

当社は、米国ルイジアナ州において、DMC(ジメチルカーボネート)及びEMC(エチルメチルカーボネート)プラントの起工式を開催しました。
DMC・EMCはBEV・HEVやESS※向けで需要拡大が見込まれるリチウムイオン電池の電解液溶剤の主要成分であり、DMCは半導体製造プロセス現像液の原料としても使用されています。新工場で生産されるDMCは当社独自の気相ナイトライト法で製造され、エチレン由来の製法に比べて低エネルギー消費、高品質、副産物や不純物が少ないという特徴があります。DMC年産10万トン、DMCから誘導されるEMC年産４万トンのプラントは2026年7月完工、同11月稼働開始の予定です。
2030年の目指す姿である「地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学企業」の実現に向け、当社ならではの強みをベースに、エネルギー負荷が低い、市況変動に左右されにくい、高収益なスペシャリティ事業を拡大してまいります。

※BEV(Battery Electric Vehicle)：バッテリー式電気自動車、HEV(Hybrid Electric Vehicle)：ハイブリッド自動車、ESS(Energy Storage System)：電力貯蔵システム

③ ドイツ LANXESS社のウレタンシステムズ事業の取得

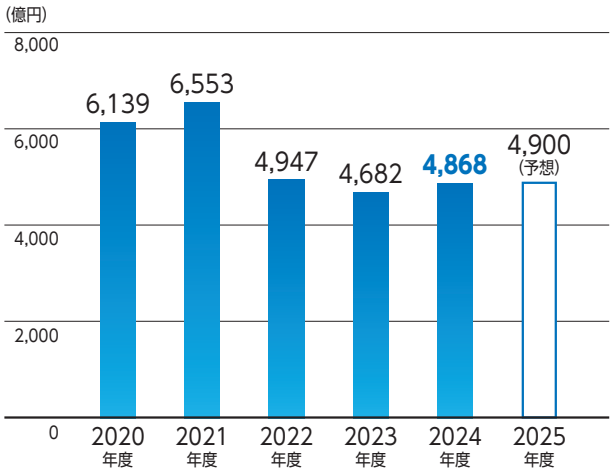
当社は、LANXESS Deutschland GmbH(本社：ドイツ、以下「LANXESS社」)のウレタンシステムズ事業を営む子会社の全株式を取得し、子会社化することを決議し、LANXESS社と株式譲渡契約を締結しました。
スペシャリティ事業の一つであるC1ケミカルチェーンは、DMC・EMCの川下である PCD(ポリカーボネートジオール)及び PUD(ポリウレタンディスパージョン)についても積極的な拡大を進めています。本件は、PCD及びPUDの川下・周辺領域に当たる、高機能ウレタン樹脂事業を取得するものです。ウレタン樹脂に関する技術力・ノウハウ、グローバルでの人財・製造拠点、顧客との強固なパートナーシップ・販売ネットワーク等の強固な事業基盤の獲得により、PCD・PUD事業を更に拡大させ、高機能ウレタン樹脂市場におけるプレゼンス強化を図ります。

④ 欧州子会社によるリサイクルプラスチック製造会社の買収

連結子会社であるUBE Corporation Europe S.A.U.(本社：スペイン・バレンシア州カステリョン)は、スペイン・バレンシア州のリサイクルプラスチック製造会社Manufacturas Paulowsky S.L.U.の買収を決定しました。
今回の買収により市場からの需要と今後の環境規制に対応し、サーキュラーエコノミーへの取組みを推進するとともに、新たな成長機会を創出することを目指しています。
当社グループは、サステナビリティに関する目標達成のために、様々な取組みを進めています。温室効果ガス(GHG)排出量の削減、循環型社会の実現に向けたリサイクル素材やバイオベース素材の有効活用、自然環境の改善に向けた水使用量の削減など、地球環境問題への取組みを推進してまいります。

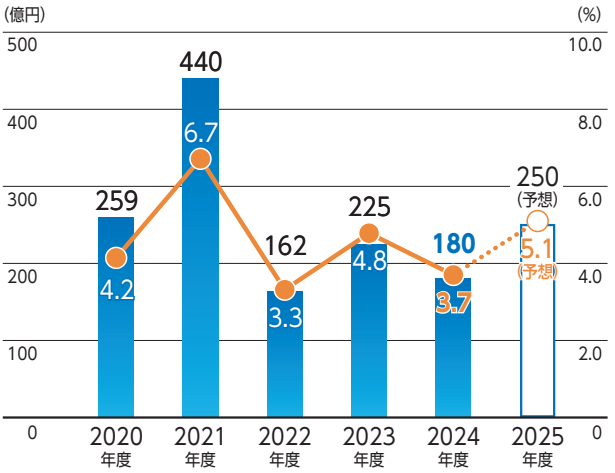
連結業績ハイライト

売上高



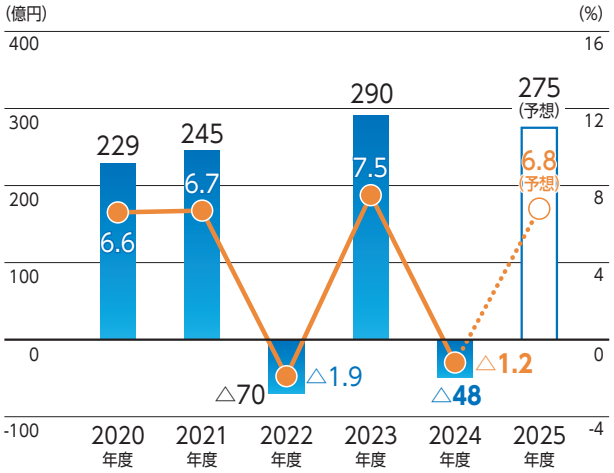
営業利益と売上高営業利益率(ROS)

■ 営業利益(左軸) ● 売上高営業利益率(ROS)(右軸)



親会社株主に帰属する当期純利益と自己資本当期純利益率(ROE)*

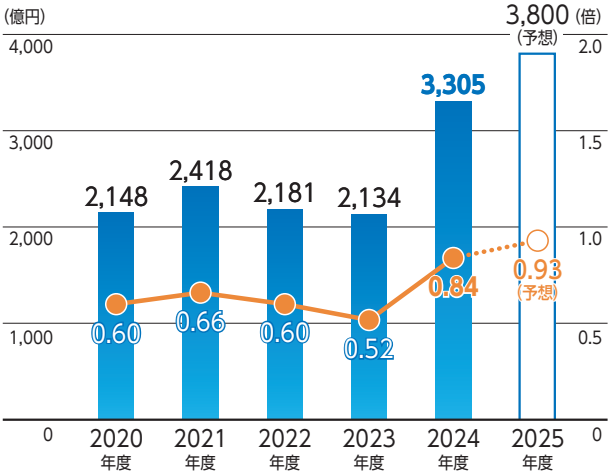
■ 親会社株主に帰属する当期純利益(左軸) ● 自己資本当期純利益率(ROE)(右軸)



*自己資本当期純利益率(ROE)=
親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

有利子負債とD/Eレシオ*

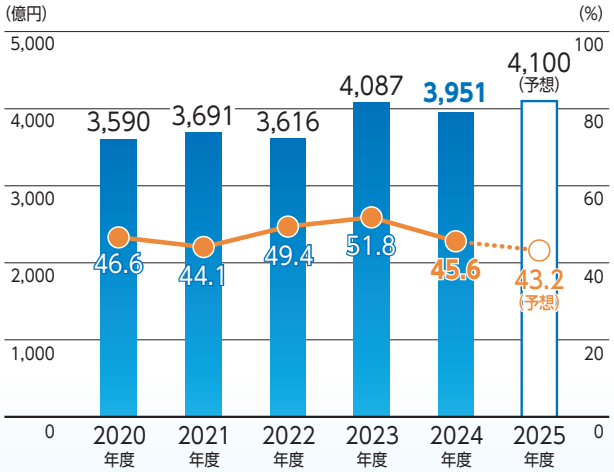
■ 有利子負債(左軸) ● D/Eレシオ(右軸)



*D/Eレシオ =
有利子負債 / 自己資本

自己資本と自己資本比率*

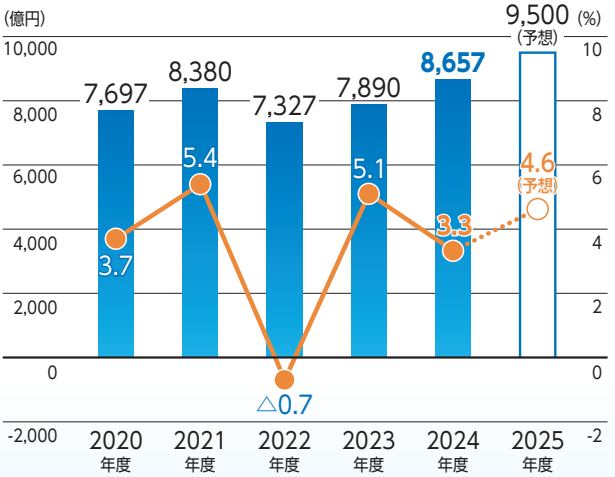
■ 自己資本(左軸) ● 自己資本比率(右軸)



*自己資本比率 =
自己資本(=純資産-新株予約権-非支配株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率(ROA)*

■ 総資産(左軸) ● 総資産事業利益率(ROA)(右軸)



*総資産事業利益率(ROA) =
事業利益(=営業利益+受取利息・受取配当金+持分法投資損益) / 総資産

(注) 2023年度において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2022年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

会社情報・株式情報

会社概要（2025年3月31日現在）

設立	1942（昭和17）年3月
資本金	58,435百万円
従業員数	2,693人（連結 7,563人）
連結対象会社	51社 （連結子会社34社、持分法適用会社17社）

取締役（2025年6月26日現在）

取締役会長	泉原雅人	取締役監査等委員	藤井正幸
代表取締役社長	西田祐樹	社外取締役監査等委員	山本爲三郎
代表取締役	石川博隆	社外取締役監査等委員	鈴木智子
取締役	川村　了	社外取締役監査等委員	田中達也
社外取締役	福水健文		
社外取締役	満岡次郎		


泉原雅人


西田祐樹


石川博隆


川村　了


福水健文


満岡次郎


藤井正幸


山本爲三郎


鈴木智子


田中達也

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会　3月31日　期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
公告の方法	電子公告（https://www.ube.com）
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
（同連絡先）	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 **0120-232-711**（通話料無料）

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
住所・氏名等の変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定		
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部	
その他株式事務について		

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

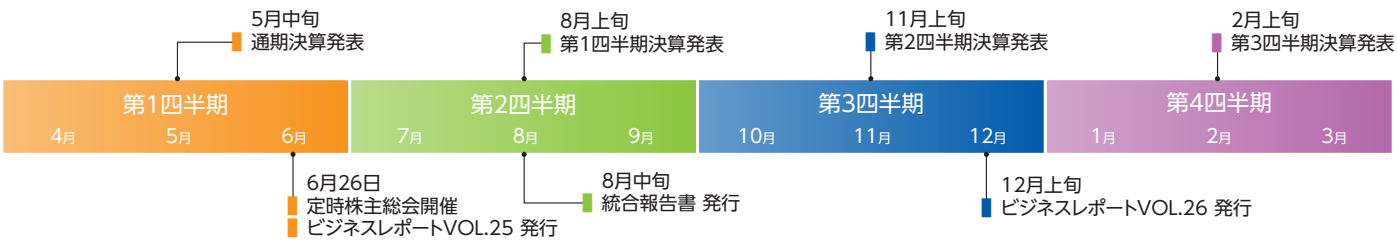
このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社

証券会社とのお取引がない株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711

IRカレンダー（2025年6月～2026年5月）



UBE株式会社

本　　社　〒105-8449　東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
宇部事業所　〒755-8633　山口県宇部市大字小串1978-96

※本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。

UD FONT　VEGETABLE OIL INK　FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C022915

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。